

平成26年度第5回松山地域協議会議事録

- 日 時 平成27年3月24日(火) 午後13時30分～14時45分
場 所 松嶺コミュニティセンター講堂
出席委員 14名
1号委員 小野 與一、志田 節子、富樫 茂、難波 きみ子
後藤 吉史、門脇 秀行、富樫 一行、池田 重悦
佐藤 玲子、佐藤 正信、遠藤 俊三、村山 安子
2号委員 白旗 泉
3号委員 日野 健吾
酒田市出席者 教 育 長 村 上 幸太郎
教 育 部 長 大 石 薫
松山総合支所長 池田 成男
学区改編推進主幹 大沼 康浩
建設産業課長 樋渡 由
建設産業課長補佐 石塚 裕
地域振興課長補佐 柿崎 弘志
地域振興課長補佐 佐藤 均
学区改編推進室主査 松田 俊一
地域振興課主査 石川 亮一
欠席委員 1名
傍聴者 4名
樋渡 善、石川 信一、新館 篤、須貝 彰
議事日程
1 開 会
2 あいさつ
3 議事録署名委員の選出
4 議 事
【報告事項】
(1) 松山地域3小学校の統合について
5 閉 会

1. 開 会

佐 藤 協議会をはじめたいと思います。最初に、門協会長より挨拶をお願いします。

2. あいさつ

門 協 会 長 皆さんには、悪天候の中ご出席頂きましてご苦労様です。新春の天候から一変して昨日から冬型の気圧配置になりまして、この天候も明日いっぱい続きそうな気象予報であります。

さて、26年度も残すところ1週間ですが、年度初めから松山地区の小学校統合について教育委員会から説明を受け私たちも検討して来ましたが、今年度の最終段階の教育委員会の説明を行いたいという事で本日開催することになりました。皆さんには、急な案内で大変申し訳なく思っております。お許し願えればと思っております。

それでは、早速でございますが、説明の方をお願いしていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

3. 議事録署名委員の選出

佐 藤 議事録署名委員につきましては、今回は難波きみ子委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

「異議なし」の声

佐 藤 それでは、難波委員に議事録署名委員をお願いしたいと思います。議事につきましては、門協会長から司会進行をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。

4. 議 事

【報 告 事 項】

門 協 会 長 第1番目4の議事に入らせていただきます。

報告事項(1)松山地域3小学校の統合について、酒田市教育委員会のほうからお願いいたします。よろしくお願いします。

村上教育長 ただいま会長さんからお話がありました様に、今日は小学校統合のことに絞った形で、松山地域協議会を急に開いて頂くことになってしまい、本当にお忙しいところ申し訳なく思っております。松山地域の小学校統合につきましては、平成25年度から、皆様方のご協力を得て、たくさんの数の話し合いをもって進めて参ったところがございます。本当に様々な方から御意見を頂戴できたこと、まずもってお礼を申し上げます。

私どもも統合につきましては、前に進めるという事で議会の方に校舎の改築・改修に伴う予算を計上したところですが、皆様ご承知のとおり陳情という形で御意見を頂戴しまして、また市議会予算委員会でも教育委員会の進め方について要望というような形で出されたところございました。議会でも

申し上げましたが、陳情書が出されたことをしっかりと受け止めて、十分に丁寧に説明してご理解を頂き、前に進めたいと申し上げたところでございます。今日もそういった意味で、これまで言ってきた統合についての話し合いの進め方や、いろいろ検討した結果、新しい学校の場所を松山小学校に決めた理由などについて、あらためて丁寧に説明を申し上げたく、お集まり頂いたところでございます。何より大切なのは、子ども達の教育環境を整備していくということ、これは本当に皆様方と一緒に確認し合ってきたことでございます。3つの小学校が統合することについては、どこの地域の皆様方からもご理解を得て、一つにまとまった所でございます。せっかく合意ができたので、まずはそれを受けて子ども達のために良い教育環境をどうしたら整備できるのか。そして今後どういうふうにして意見をすり合わせてまとめていったら良いのかというようなことにつきまして、私たちのお願いもございますけれども、皆様方からのお知恵をお借りしながら進めたいなど思っております。どうかせっかくの機会でございますので、疑問に思うようなところ、或いはもう少し丁寧にここはどうなっているのかというようなことがございましたら、遠慮なく出していただき、我々も子ども達のために精一杯やりたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

大沼主幹
門脇会長

～資料に基づき「松山地域3小学校の統合」について説明～

今ご説明いただいた訳ですが、この件について3小学校の統合について、皆さまから質問を受けたいと思います。

小野

座って失礼します。小野と申します。私もこの件を聞きまして、ちょっとびっくりしております。私の知っている限り、29回の会議が開催され、1,055名の地域の皆さんから集まって頂いて、ご意見・要望を取りまとめたと聞いております。また、私から申し上げた松山地区の中央部に設置してほしいという意見に対しても、それぞれ、農振の関係や地震の関係、水利の関係、最上川の関係等を調査してご返答を頂きました。そして、全体的な内容について、各コミ振での説明会による意見収集を初め、自治会連合会研修会、保育園の保護者会、PTAの保護者会、連合PTAとそれぞれ実施されたと聞いております。また、地見小においては、26年度の4月に会議を開いても、物事ははっきり言える人と、中には他に遠慮して言えないという方もいらっしゃるという事で、アンケートを取ってそれぞれ意見を収集した経過もあるそうです。そして、今までの経過のなかで、完璧ではないけれども、陳情書が出るまでは、内郷という意見も確かにありました。でも、その時、私は南部へとは言いませんでした。南部出身ですけれども、それはなぜか、地見興屋小学校も新しく教室が一つ足りないぐらいで、それを設ければ十分対応できます。何故、私が言わなかったかというと、居住の中心は、松山地区です。そして、救急もあり、官公庁もあり、学童保育もあり、すべてが揃っていると思ったからです。そして、松山地区全体の発展のために小学校を置いて、私共の心

の拠り所、共有の施設としての機能も併せ持つことも述べてきました。それについても、確かに100%完璧かと言われれば、それは、完璧でないと思います。教育委員会で説明もしてくれましたし、私なりに、中心部にどの思いはありましたが、それだけ、受け止めてもらった気がします。条件もついていますが予算もできました。前回の説明会で、ソフト面だけでなくハード面の意見も申し上げました。それは校章や校歌だけでなく、駐車場の問題、いろいろなシステムの問題、学校の構造問題等を提示して、地区としての学校の機能や教育施設として機能が十分発揮できるような体制に持ってほしいという事を前回申し上げました。今の付帯事項につきましては、当然のことだと思います。私は、陳情書ということになるとマスコミの受け止め方が？私もさっと読みましたけれど片手落ちというのか、両方の情報を聞いて判断することができればですが陳情書というだけで、もう地元では認めていないように思われます。ただ、陳情書について、あえて否定はできないわけですね。自由ですので、だれも陳情書の内容について、何名が集まって決定したのか、連名になっていますけれども、何名集まって後援会、どういう後援会だったのか、後援会がどういう会になって後援会長がどういう判断をしたのか、本当は聞きたいです。また、27日に提出されるまでの過程で振興会がどういう集まりをして、どうなって、どういうシステムになっているのかという事もお聞きしたいわけです。今日は、それを聞いても大変だと思いますので、私としては、今の体制のなかで、教育委員会が今まで目指してきた内容を着々と地元民から、不備な点は聞きながら進めて頂きたいと思います。揺らぐ必要はないと思います。8回も全戸配布し、地域住民に内容を提示しているわけですから、我々も受け止めているわけです。この間、卒業式で「統合はどうしたの」と言われましたが、返答できなかったです。というような心境でございまして、将来的な展望に立っての施設と思いますので、その辺も汲んで頂いて進めて頂きたいというのが私の願いです。以上です。

門脇会長 ありがとうございます。今の件についてという訳にもいかないもので、また他に何かありませんか。小野委員の他に質問等何かありませんか。

池田委員。

池田 よろしくお願ひします。

地元の事で大変ご迷惑をかけているようですけれども、私が統合校の問題と言うよりは、まず一つは、地域協議会という立ち位置が何度もお話も説明も受けました。そしてその説明に対して意見もありましたし、協議会もありました。その中で一応は聞いておきます、承りますという話でありましたし、さらに私たちは地域の代表ではありませんよと、集まってここで協議に来ている訳ではありませんので、私はあくまでも個人の考え方として意見を述べて来ている訳で、内郷の地区の代表として内郷の意見ということではありません。それを何度も確認しています。あくまでも個人の私池田の考え方を申し

上げた会議をしている訳でもありません。何度も申し上げていますが、この地域協議会の立ち位置というのはどういう事なのか説明願いたいです。事務局で結構です。

支 所 長 地域の代表でないという事は、前も池田委員のお話ありましたが地域
の声を伺う、意見を伺うという事がこの地域協議会の方針であると、お願い
するにあつたては、自治会であつたり商工会であつたりコミュニティ振興会
であつたり各会各層の皆さんからご推薦をいただいてこういう組織を運営さ
せていただいているという実態であります。各会・各層の皆さんのご意見を
頂戴する。また市長においても地域協議会を非常に尊重して大事にして考え
ております。まずは地域協議会の皆さんのという考え方でおりますので、私
たち事務局といたしましても、地域の皆さんの声、意見をうかがう地域の皆
さんの各会・各層の代表者として受け止めております。

池 田 代表者という回答でありましたので、大変申し訳ありませんけれども内郷振
興会という会も入っていますし、教育後援会にも入っていましたし、同窓会
の会員でもありますし、今は PTA ではありませんけれどもそういう組織の代
表の一員として出ているのであれば私は、意見は申し上げることはもう出来
ません。

門 脇 会 長 何か他に意見はありませんか。

日 野 日野健吾です。私は応募しました。地区の委員でもありませんし応募しまし
た。応募委員をやっている訳です。従いまして松山がこのふるさと松山がい
かに住みやすい町になっていくか、それを願ってお互いに助け合って歩んで
いきます。それをモットーにしています。従って学校のこの会が 35 回程あつ
たと聞いていますが、松嶺地区の地域振興会に出ました。いろんな各会に出
ました。いろんな方々、荒興野とか石名坂・大川渡とか下新田・大沼・中牧
田といろんな方々から声を収集してきました。よそから見た松山地区とい
うのは非常に新しい。歴史文化の街という事であつてそれは話が長くなります
が、いろんな生活で暮らしている方々の立場などを考慮しますと通勤とか何
とかという場合で、歯医者さんがある、悪い事をすると駐在所も有ると、い
ろんなものがそろっている南と北の中央の山寺の小学校が、山寺地区が一番
ベターでないか、逆に柏谷沢の地域協議会方が柏谷沢に小学校があれば遠く
なる。逆に内郷の方があつちに行けば遠くなる、そういうことからやはり体
の真ん中、へその部分に置かざるを得ないという苦しい立場であると思うの
です。そしてここは庄内橋も新しく今作っていますし、非常にこれからは、
よそから受け継ぐもの流れて入って来ると同時に定着する。そういう可能性
が十分あるのです。ちなみにその山田地区は、ほとんど住宅がなかったの
ですけれど今は、80 戸位に増えているのです。非常に暮らしやすいし空気も
いいし、私は生まれが、20 歳でもらわれてきたので、松山の今やと住人にな
ったのでやはり学校が端っこにあるとどっちの端っこにあつても不便だし、

いろいろな保育園とか学童保育とか診療所とかそろっている銀行もあるスーパーもあるそういう所の方が私は良いと思っております。私もある高校の存続の問題で色んな庄内町の方とこの間も夜10時頃まで庄内町で集まりましたけれども原田町長がいう言葉に、みなさん存続運動というよりもいかにこの地域が発展する所がいいかとそういう事を言うておりましたのでその言葉を当てはめると松山町におきましてもどこが一番ベターであるかと考えざるをえないのではないかと考えています。南部の方々に聞くとなかなか遠慮不足というか本音を言わないけれども、この間山寺の公民館で私確定申告に私行きましたらいつまでこの問題で「もちやもちやってんな、あと決まったじゃないか」という意見もあったそうです。教育委員会におきましては、高い視点から将来の松山を可愛がっていただくという石川翼久教育長さんですか、あの方のあの選んでくれた私たちに対する可愛さ、あの気持ちを受けていろいろな言いたいことがあって不満足だと思いますけれど、ぜひ私はこの資料館もある伝承館もあって夢がいっぱい出てくるところにしたほうが一番いいと思って教育委員会の考え方には敬意を表したいと思います。そしていろんな新聞も見ますと、コミュニティ新聞ですか、どうもその記事の表現がちょっと大人気ないとか書き足りないという事もありますけどこの問題がごたごたしていると、家庭で言うとか家の中日野家で言うとか倅と嫁と親父と割れているというこゝ事になるので、こういう新聞に出さないですごく松山地区が円満にお互いに、交通安全で言うお互いにゆずりあって声かけて歩くというスタイルで私は進めたいと思っています。私の家で中牧田の親戚で今年から小学校1年生に入ります。この子も将来、どこの子も同じですが、まっすぐ育てて大きくなって大木のようになって欲しいというそういうことと同時に心のよりどころとしての俺と息子と??

明治の哲学者阿部次郎さんですか、その方が出たとそういう所だと言って堂々と行っていけるそういうでっかいタイトルのあるその学校に私は…。

門脇会長 日野委員いいですか。これは教育委員会の考えたことに対しては一応賛成するような話し方でいいですか。

日野 はい。私しゃべると止まらないので。石川翼久さんが出したあの人とだったら一緒にやっけていけるということがいいです。

門脇会長 他に、富樫委員何かありませんか。この機会を借りて全部意見のある人に言ってもらって、そしてまた教育委員会のみなさんから一応その考え方について収集しなければならぬのか、またみなさんで改めればいいのか、と思います。お願いします。

富樫 はい。まず基本的には、これまでの教育委員会の進めてきた方法・手法・結論、これについては、私は間違いはないという風に思います。それでその考えの基ですけれどもまず一つは、ここ旧松山町は一町二ヶ村の合併でした。当時の合併でも同じような学校統合問題がありました。今回の統合の話の中で

一番最初に私記憶が残っているのが、内郷の PTA の方が地域感情に繋がらないような進め方をして欲しいと、これはやっぱり昔の同じ道を通らないような、子どものための実施を目指すため改革を目指して欲しいとの願いであったと思います。そういう意味からすれば今回の結論の方向性は、間違っていないのではないかと思います。ただ、ひとつは学校というのは、子ども確かに教育委員会が主体に考えている教育環境を求む施設です。それと複式はいろいろな考え方があって、市の今の方針としてはなるべく回避したいという考えですけれども、必ずしも複式がタブーではないということで、私はその辺は質問していないですけれども。ただそういう意味で進める方向性は間違っていないと思いますし、統合については学区改編審議会からもそういう返事、結論をいただいているという事であります。ところで、地域の立場からすると公共施設というのは、単なる公共・住民との繋がりだけではなくやはり地域の賑わいをつくる一つの拠点に繋がる意味も含めているということからすれば、学校であれ、あるいは旧公民館であれ、コミセンであれ、大変重要な施設であるという事だと思います。その事がだんだん今の社会の変化によって施設が統廃合されていることによって一番しわ寄せが地域に来ることが地域の住民が一番心配しているところであります。従って今回の内郷から出た振興会さんから出た要望というのは決して私否定はしませんが、ただ結論に対してこういう形でくるというのは非常に不本意だなという感じがします。この裏は、私なりに推測するには内郷地区ですべての方がそういう形のサインを示しているとは私は思いません。私はこの振興会がどういう形の中でどういう構成で、先ほど小野さんからあった様にこの陳情書が本当に地域のみなさんが合意を形成した形で出てきているのか私も分かりませんが、これまでいろいろ議論してきた中にもそれぞれ地域ごとに反対の意見もありましたし、それぞれ地域に誘導する考え方もありました。けれど結論としては、先ほどの教育委員会さんがまとめてこういう結論を出した。これがまた一から繰り返すようなことでは地域そのものが将来見通せない状況である。むしろそうなれば仮にですよ、内郷になった場合には多分他の地区から同じような事になるでしょうし、学校の統合というのは実現しないと思うんですよ。これでは何のために教育委員会が方向性を示したのかということになりますし、委員会としては毅然とした方向でまず進めてもらいたい。それからもう一つは、地域に対して丁寧な説明ですよ。それから危惧される事、これに対する答え、例えば内郷小学校が廃校になった場合に利用をどうするのか。それをもう少し平行した形で、提案なり議論をしていく事がひとつ必要ではないかなと、今現在松山の中学校も閉校なって、里仁館は県の施設で何とか活用されている訳ですが、その他にもある訳ですよ。今度、地見興屋もそうですからその辺の両面作戦がないと地域としては安心度が取れないのかな、という風に思いますので私は追っかけてそういうことの検討の機

会をつくっていく必要があるのではないかなという風に思います。

門 脇 会 長 はい。ありがとうございました。それでは、白旗委員何かありませんか。

白 旗 はい。今、富樫委員が話した内容と??三つの地域が一つの合意に至るとい
う事が考えられない訳で、考えられない事だと思います。地域の拠点・交流
の拠点である小学校が地域から無くなるということに関しては、これはやは
り??しない訳ですので、それに対して 25 年は一年間話してきて統合やるら
しい、そして 26 年、すいません、私の感じたことですが 26 年統合場所をど
こにするかという事で、そこで例えば松嶺地区からは、新しい学校をこの地
区に何とか建てられないかという話になってちょっと遅ればせながらそうい
う意見がこの地区ではまとまって、私松嶺地区なのですがそれが出来ないこ
とになった。途中 9 月からどっちの学校にするか、内郷小学校にするか松山
小学校にするかでみなさんの話を伺いたいという事でその辺の話で持ってい
き箇所です少し急かなというか、いつまでも意見を聴いている訳にはいかない
のかなと思いましたがけれどもそういうことは 26 年にありました。26 年の 12
月にこの地域協議会がありましたけれども、そこではこういう事になりました
という報告の会でした。つまりこの協議会というのは、意見は言う時間は
持ってもらっていますけれど、結局この地域協議会の一つは意見という形で
届けるということはないのかなと思いましたが。従ってある程度やむを得なく
ここまで進んできているのかなと私は思って今後はこの地域協議会で何をす
るかという新しい学校がそこに決まったのならば、そこでその教育環境を
より良くするために色んな事をそれぞれの人たちが話をしていくと、それを
届けるという事に切り替わっていくのではないかなと思っていましたのでそ
ういう事でその後1月にNO.8のお知らせが出てそのあと日にちがずっと過ぎ
ていって 3 月に至るとい事になっていって、その後に内郷のみなさんの意
見というのが出たという事で、私もちょっと唐突な感じがありました。ただ
教育長さんのさっきのお話もありましたけれどもそれに対しても丁寧によ
っていかねばならないということでは是非丁寧の説明をお願いしたいと思
いますが、立ち止まるというかそれに時間を費やして先に進まないという事は
出来れば避けていただければな、というのが私の意見です。

門 脇 会 長 はい。ありがとうございます。松嶺地区で後藤委員、何か全体やら個人の考
え方でも結構です。

後 藤 はい。先ほど池田委員の方からもありましたけれども、属性から言えば私も
コミュニティそれから町内会含めて松小の同窓会も含めて同じ様な状況で、
ただ地域協議会委員として発言をさせていただく場なのだろうなと思ってい
ます。それから地域協議会の組織としてどのような活動をするか今日この場
で議論していきなり意見を色んな情報を得たりしていく立場なんだろうとそ
ういうのを含めて最終的に後藤個人、いわゆる協議会委員としての後藤個人
の意見として言わせていただいて、今ありましたけれどもコミュニティとし

てもいろいろな機会に今回の事について新聞を賑わした中でいろいろな意見もございました。やっぱり最後の部分がちょっとやっぱり足りなかったかな、急ぎすぎたのかな。最終的な教育委員会の結論を得てその部分についていろんな話をあんまり聞いてないよ、という声が多かったのは確かです。そういうのも含めて、今現在どうしたらいいのかという部分での意見を申し上げさせてもらいます。タイムリミットの言いますと、統合を決めてその準備が2年ないし3年いる。それからしますと今回の予算執行というのは一定のレベルからするとぎりぎりの線なのかな、そう長く先送りという形では出来ないだろうという風に思っています。そういった中で、第一点は子どもたちに近いPTAの人たちがどういう風に考えているのかという部分について教育委員会としてこの答えを出した過程の説明をもう少し丁寧にしていく必要があるのかなという感想を持っております。地域の事につきましては、地域協議会をうけてコミュニティとしてもお知らせを出させてもらいました。それから、今の時期でなかなかお知らせを出しづらいので、教育委員会として今回の説明について、結論についての説明をお願いしたところ、早速チラシを出していただいた。ただ残念ながら、その部分が広がらなかったのかなという風に思っています。そういうのも含めて、これから小学校に入っていく保護者の方々、PTAの方々、それから小学校の地域の中で持つ意味の部分について、色んな意味で考えた結果だという部分をアピールしていただく必要があるのかなと思います。

門脇会長 はい。ありがとうございます。他にありませんか。はい。池田委員。

池田 ちよっと付け加えさせていただきたいのですが、振興会の陳情書を出したという代表が内郷振興会になっていますけれども内郷小学校後援会・PTA・同窓会それぞれの人たちがそれぞれの意見を持って集合して内郷振興会ということで、連名でこの陳情書を出しておりますので、それぞれで私も会員でこの松嶺コミュニティの会長さんとちょっとOBとかそれぞれの立場は同じですけれども陳情書を出した一員ですので、内郷振興会だけで出している訳ではありませんので連名でそれぞれの同窓会会長・PTA会長それから後援会・内郷振興会という連名で出させていただいていますのでそれぞれにその部会でそれぞれの会合を開いてそれぞれが決定してこういう形になったということをまず申して、個人的な考えで内郷のすべてが100%陳情書と同じ意見だかということに対しては、何名集まっている訳ではありませんのでそれぞれの組織の中で集まってのそういう意見でありますので、特に何とも言えませんが、けれども経過としてはそういう風に私もその中に入って相互の意見、自治会長の意見ですけれども、その中で自治会長の中での強い要望があったということをお知らせして私は一員で陳情書を出した一員ですので、私の個人的な意見は控えさせていただきたいと思います。

門脇会長 はい、ありがとうございました。みなさんから色々な考え方これはあくまで

も個人的に、あと私も市のほうの教育委員会のほうとしてどのように考えられているのか、それで私も1月の時広報を出す際において教育委員会からああいう文書が出たことに対してみなさんにずっと回ってきて26年度春からずっと回って来たわけですね。そういうことに対して質問それで返答もしっかりやられているんですかという事は教育委員会の事務局のほうに確認は取らせてもらいました。それで別にそういうことに対しては問題ありませんという事だったものですから私もそうであればあの文書を見て別に松山小のほうに検討した結果決めさせてもらいましたという事に対しては何も異論は無いです。最終的に陳情書とかこういう風に出て来るとなると後藤委員が言っていた様に何か最後の詰めが甘くあったんじゃないのかと、こういう考え方を持っている人たちにもっと説明の機会設けてあげたらどうだったんだろうと、今の私としての一応反省もあるんですけどもそういう事が感じられます。それで結局この内郷小を議題にするとまたぶり返すような話になってしまうものですから、やはり今の校舎のお金に対しては文部省とかそういう所から予算要求はあるんでしょうけども、内郷小になって来て、今度バス通学バス等について市の方で負担が大きくなって来ると思うんですね。そういう所から考えれば私はやっぱり中心地の方になればそれだけ負担はいくらか少なくなるからいい、そういう所も教育委員会では考えてくれたのかなと、私はそういう風に安易に取っていました。そういう所があるんですけども…。他に何かありましたら最後には教育委員会の方から色々なこういう所はこうですよと言ってもらえれば、説明していただきたいと思います。全部こちらの方の考え方、私はこう思っていたとかそういう所ありましたら一応ここで手あげていただければと思うんですが。他に何かありませんか。

小 野 ちよっといいですか。

門 脇 会長 はいどうぞ。

小 野 陳情書の内容について、私がコメントすることは無い訳ですが、ただ、2ページで、「25年5月31日の懇談会の中で松山小ということが決定したのかと思いました。」とありました。確かに統合についての理解は早かったですよね。時間がかからなかった。4~5ヶ月で統合については合意できたようでした。それ以降、場所を重点に論議が交わされた経過があります。場所については、二転三転するようなことはなかったことも事実です。松山小を原案で一向に意見を聞かなかったようにとられるような陳情書の内容と思いました。今までの経過で、何回も集まって意見を述べてきました。満足に意見が通った原案になっていないかもしれませんが、でもそういう手立てを経て委員会の議決もあったと思います。その辺のプロセスについて、若干、内郷地区について受け止めができなかった面もあり、我々南部についても完璧ではないと思います。このことから、今後、建設する過程で、児童が三学区あるわけですから、その子ども達の心のケア、それと工事を進めながら実施すること

へのケアも重要です。それと改修を進める上で準備委員会の機能が、ソフト面の内容になっていましたが、ハード面についても意見を聞くことが必要と言ってきました。こういう意見が出たわけですので、8回の全戸配布の説明会を開いたわけですが、もう一度、まだわからない方、理解できない方へ、丁寧に説明して行く必要があると思います。新聞報道を見てストーリーに受け止めている場合もあるわけですので、酒田市が強引に進めていると取られないように配慮しながら、今後対応して頂きたいと思います。

門 脇 会 長 今までこの各委員から一応質問と考え方を今述べさせてもらいましたけれども市の教育委員会のほうとしては、今まで言っていたことに対して何か回答というか、考え方についてこうだという所がありましたらまた今現段階でお願いいたします。

教 育 部 長 複数の委員の皆様から最後の詰めの部分で少し甘かったのではないかとの意見がございました。このことについては本当に反省しているところですが、統合は決まったけれども場所が決められずに1年間延びた訳です。また今年1年間決められないと予算を計上する時期の関係もあり、丸々2年間遅れていくこととなります。私どもが説得できないといいますか説明が十分できないというところがあり、すべての地域の皆様のご理解をいただくことができなかった所です。できるだけ多くの地域に入り、皆さんの話を聞いてそうした中で判断させていただき予算を計上したところですが、最後の部分で内郷地区の皆さんに十分説明ができなかったことについては、これから内郷地域の皆さんとお会いする際にお詫びをしていきたいと思っています。今回の市議会の要望事項についても、合意形成を図りながら進めなさいとなっておりますので、予算は可決されて統合校は松山小でいいけれど、事業を進める際は合意形成を図り慎重にというふうに取り取るしかないのかなと思います。各団体から陳情が出ていますが、まずはPTAの皆さんへ話をしていきます。役員改選の時期でもあり、次のPTA会長が決まるのが4月の終わりになってしまうので、明日今の役員の皆さんからお集まりいただき話をし、新しいPTA役員の方にしっかり引き継いでもらって、新体制になったら同じ話をしていきますが、何とかPTAの皆さんからご理解いただきたいと思います。PTAの皆さんから反対されると統合そのものが進まなくなってしまうので、丁寧に説明して何とか合意をしていきたいと思っています。先ほど池田委員さんの方からそれぞれの団体で、いろいろ論議された上で各団体がハンコを押した、というふうなことになりますけれども、私どもの方も市議会から合意形成というものを求められていますので、それぞれの団体に一つ一つ話をしていきたいと思っています。その際は、今後、内郷小学校をどう利活用していくかに関しての話も一緒にして頂きたいと思っています。そもそも統合は内郷小学校でということですのでその話ができないのですが、跡地利用についても十分に話して参りたいと思っています。もう少し進まないと話もできないのかなというところもありますけれども、少しずつ話し合

いながら進めて参りたいと思っております。そういった意味で地域協議会も含めて地域とは、そんなに多くの時間は、また1年もかけるというわけにはいきませんが、しっかり話を聞いて行きますので、それぞれがその会議の都度この進め方でいいという形でご理解を頂きながら進めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

門 脇 会 長 はい、ありがとうございました。先般だったか私が3月の審議会を始める前のあたりに山新に内郷小学校の児童からでしたか一応新聞に載ってました投書なんだろうね。一応早く統合して生徒が多い、生徒中で一応勉強したいというような内容に見えたんですけどもそういうようなやはり子どもたちのことを踏まえていけば長くすれば時間かければいいという問題でもないと思います。だんだんだんだん今度松山小学校も29年度あたりから複式学級にやらざるを得ないというメニューやそういう状態に来ていますので何とか話の内容を理解していただいてですね、市の教育委員会のみなさんのまたこれなりのこの説明と??を出していただいて何とか早めにまた軌道に乗せていただくようお願い出来ればと思います。それでほかになんかありましたら、せっかくですから委員会のみなさん。どうぞ

小 野 はい、私から一点ですが、東部中学校も統合して一年経過するわけです。特にスクールバスについては、市の準備してくれたバスで、柏谷沢から管内を全部回って試してみました。特に、この冬を経過して、バス停のあるところ、無いところなど、通学が不便をきたした反省点もあると思いますので、実態を収集して次年度に改善できるようにしてほしいと思います。特に、石名坂地区は距離要件から外れていますよと言われましたが、実際通学路を廻ってみて防犯灯や歩道の不備と橋を渡ることから、バスの利用を要望申し上げましたが、最終的には、校長先生の判断という事で決着しました。子どもたちが安心して通学できたのか総括してほしいと思います。また、地元に中学校がないと、どうしても情報が入ってこない実態にあります。学校については、校長先生はじめ先生方の管理になるわけですが、統合したばかりで有りますので、教育委員会からも、実態を把握して頂いて、子供達が学びやすい環境、通学しやすい環境を構築して頂くよう要望申し上げたいと思います。

門 脇 会 長 はい、ありがとうございます。みなさん何かありませんか。はい、遠藤委員。
遠 藤 あの内郷地区でけれども池田コミュニティの会長が、色んな内郷振興会から色んな役職であります、今日は沈黙しておりますけれども、ちょっと変わって私一言、内郷小学校が合併する前に新築したわけです。その時もいろいろ松山町時代にいろいろ賛否両論ありました。それでその時に新館振興会長が議会の議長をして、それで振興会中心に内郷の小学校を改築したわけです。その流れで将来は3校一緒になるというようなことも踏まえてですあの当時反対もだいぶありましたけれども新しく作ったわけです。今回陳情書出ましたけれども、私も必ず来るんじゃないかなとは、想像していま

した。それでこの内郷の振興会とかいろいろな PTA 会長とか内郷の保護者とかコミュニティとかも説明会にはこういう人方は入っていなかったですか。何回か協議しましたが、説明も酒田の方でそれでもこのように出すわけですか。

池田 意見を聞いておくだけということですか。

遠藤 そうですか。ここまで来たの以上はですの丁寧な説明をして、何回でもいいですから足運んでそして合意を得るようにひとつお願いしたい。

門脇会長 はい、ありがとうございます。ほかに何かありませんか。この機会ですので、何かありませんか、こうした方がいいんじゃないかという案があるんであればそれでも結構でございます。あまりずっとこのままでいけば終わりにしたくなってしまうわけですが、よろしいですか。何かこの機会に教育長もおることですのでいろいろと学校関連で何かあればまたそれを。教育委員会にお聞きしますけれども、たとえば内郷小学校とかまあ内郷小学校まだだめなんだけど、地見興屋小学校等についての今後の使用の跡地なんかが、あれはまたいろいろこれからなんですかご検討は、廃校についてのお願いします。

教育委員会 地見興屋小学校については、地元の皆さんが利活用について、先進事例のところに視察へ行ったり、新年度からは検討委員会を立ち上げるので市の方からも入って、一緒に検討しませんかというような申し出も地元と副市長との話し合いの時に出ているところです。少し先行して将来的な利活用の検討を進めているので、4月からは本格的に進んでいくのかなと思います。

門脇会長 はい、ありがとうございます。もう一点、松山中学校は、どのくらい進展また廃校なって進展ないのですか。

教育委員会 松山中学校は、体育館は耐震になっているので使えるのです。

門脇会長 じゃそのまま、まだずっとそのままそれって通行止めですか。

教育委員会 あそこを専門家から見てもらうと、山を切り崩して造成しているので少し崩れてきたようなところがあります。校舎の周りを一周してもらおうとわかるのですが、ちょっと使いづらいと思っています。

門脇会長 はい、ありがとうございます。もしこれでなければ、遠藤委員どうぞ

遠藤 小学校問題では無いんですけども、今の中学校問題跡地のことについて、わたしたち体育館のことで体育協会が音頭とってですのいろいろな3つもあるもんだから体育館、その話は陳情行ったけれども話は教育長のところには行ってないですか。

門脇会長 はい、お願いします。

教育委員会 その話は直接伺っていませんが、今、市では公共施設の適正化計画を造っています。市の公共施設の適正化計画、要するに合併したので施設がたくさんあるのです。施設がたくさんあって、なおかつ人が減っているなのでこのままでは当然、維持経費もかかるのでそれを人口に割り振ってどういうふうな場所に何があると一番いいのか施設の再配置計画を作っているところです。今

年度進めているのが総論ですが、これも統合と同じで総論は賛成になります。この次の段階で、各論になるとまたどこを具体的に配置するかという選択が迫られてくるのでなかなか大変なことになります。

今のところ市の学校施設で、耐震性に問題無くて使える所であればまずは使っていただいても大丈夫です。具体的にこの地域全体の体育施設について同行ということについては教育委員会では把握していないところです。

門 脇 会 長 はい、遠藤委員よろしいですね。

遠 藤 はい

門 脇 会 長 ありませんか無ければ一応終わりにしてよろしいですか。はい、このような時間をさいて市の教育委員会、教育長はじめ来ていただきましてありがとうございます。とにかく今三地区の生徒さんがたもだんだん縮小されてくるような、減ってくるような状況になってきていると聞いていますので、あまり長引かせないで皆さんの方に PTA の父兄のみなさんにも分かっていたいただいてスムーズに軌道修正をしていただいでやっていただければと思います。協力よろしくお願いします。今日は本当に皆さんご苦勞様でした。ありがとうございます。事務局その他は何かあるのですか。

佐 藤 事務局としてはありませんので、これを持ちまして協議会は終わらせていただきます。どうもありがとうございます。

6 閉 会